

あなたが支える市民活動応援事業実績報告書

大分市長職務代理者
大分市副市長 久渡 晃 殿

所在地 大分市明野東1-1-1アクロスタウン
団体名 明ゆうクラブ
代表者氏名 五十川 俱之
電話 097-553-5505
担当者 [REDACTED]
担当者連絡先 [REDACTED]

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第13条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- | | |
|----------------------|---|
| 1. 交付決定年月日
交付決定番号 | 令和 4年 9月 1日
協働第 868号 |
| 2. 事業名 | 明野地域住民の健康とコミュニティづくり |
| 3. 補助金の交付決定通知額 | 156,761 円 |
| 4. 補助金の概算交付額 | 0 円 |
| 5. 補助金の精算額 | 156,761 円 |
| 6. 事業の成果 | コロナ禍の影響などで、会場確保が困難であったこともあり教室の開催が計画に対して70%程度の実施率であった。 |

7. 添付書類 (1)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書
(2)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書
(3)活動目標に関する報告書
(4)その他市長が必要と認める書類

(この内容は、大分市のホームページ等で公表いたします。)



あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書

団 体 名	明ゆうクラブ			
事 業 名	明野地域住民の健康とコミュニティづくり			
主な活動地域	<p>※ 該当する□にチェックしてください。【】の中は校区となっています。</p> <p><input type="checkbox"/> 大分中央【金池、荷揚、長浜、中島、住吉】</p> <p><input type="checkbox"/> 大分西部【春日、大道、西の台、八幡】</p> <p><input type="checkbox"/> 南大分【豊府、南大分、城南、荏隈】</p> <p><input type="checkbox"/> 滝尾【滝尾】</p> <p><input type="checkbox"/> 城東・原川【津留、東大分、日岡、桃園】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 明野【明野】</p> <p><input type="checkbox"/> 鶴崎【鶴崎、三佐、別保、明治、高田、松岡、川添】</p> <p><input type="checkbox"/> 大南【戸次、判田、竹中、吉野】</p> <p><input type="checkbox"/> 植田【植田、宗方、横瀬、東植田、寒田、敷戸、駕野、賀来】</p> <p><input type="checkbox"/> 大在【大在西、大在】</p> <p><input type="checkbox"/> 坂ノ市【坂ノ市、小佐井、丹生】</p> <p><input type="checkbox"/> 佐賀関【本神崎、木佐上、大志生木、佐賀関、一尺屋】</p> <p><input type="checkbox"/> 野津原【東部、中部、西部、今市】</p> <p><input type="checkbox"/> 市内全域</p>			
実施時期 実施場所 実施内容 (目的・経過等)	時期 (月)	実施場所	受 益 対象者数	実 施 内 容 ※目的・経過等をできるだけ詳細に
	4月～ 3月	明治明野 公民館	卓球 = 407 ヨガ= 445名 太極拳 438名 ソフト ストレッ チ=2 42	教室：卓球、ヨガ、太極拳、ソフトストレッチ これら4教室について、会場の確保(抽選会に出席)に努めたが、卓球と太極拳については計画どりの使用はできなかった。
※別紙添付可		明野西 小学校	バドミン トン = 93名 ミニテニ ス= 163名	教室：バドミントン、ミニテニス この2教室については、小学校の体育館を借用しているが、小学生のミニバスケットとハンドボールの練習や大会会場になるなどによって計画どりの開催ができなかった。
		明野北 小学校	子供スポ ーツ = 121	教室：子供スポーツ 小学校体育館を借用して教室を開催しているが学校行事等で使用できないこともある。この教室は年会費だけで1回当りの参加会費は無料としている。

<p>使用した 広報手段と その効果</p>	<p>使用した広報手段（ポスターの作成、ホームページの作成等） ホームページ掲出（毎2カ月分の教室日程表、毎月・都度更新） 市支所等の掲出板4か所に2カ月分の教室日程を貼付したポスターを掲出</p> <p>今年度行った広報の効果 ホームページは、コロナ感染防止のため急遽休講にした場合など、ホームページで確認してもらうために効果があった。ホームページを見て新規加入の問い合わせや加入の方法などの問い合わせがあった。 教室の日程表を貼付したポスターを、支所外壁面やアクロス掲示板、校区公民館、明治明野公民館の掲示板の4か所に掲出しているが、これを見て入会の方法などの問い合わせがあった。</p>
<p>事業の成果</p>	<p>地域への効果について（事業を実施した結果、対象地域にどのような効果があったのかを、できるだけ詳細に記入してください。） 何年も続けて会員になり教室を利用している人を中心に、前記広報等により新たに入会してくる住民がいるが、退職して運動を目的に入会してくる人も居るので、総合型クラブの存在は貴重であると思う。 広報物に記載している「問い合わせ先」は明ゆうクラブ会長の携帯番号としているが、問い合わせには詳しく応えているので、PRにもなり、迷わず体験参加に來られ入会に繋がっているケースがある。</p> <p>市民への効果について（市民にとってどのような効果があったか、市民福祉の向上にどうつながったのかを、できるだけ詳細に記入してください。） もともと、総合型クラブは住民のニーズに沿って教室やイベントを計画し参加してもらうのが目的であり理念でもあるので、クラブの存在や定期的に開かれている教室を少ない費用で利用できることに努力しています、このような姿が地域に浸透していくことにより、住民の健康と友達づくりと人生の楽しみが実現できることになる。会場と指導者の確保が容易にできれば、会員の数も増え教室の種目も増やすことができます。</p>
<p>来年度に 向けた課題</p>	<p>教室会場の計画通りの確保やコロナ禍以前に使用していた会場が使用できるようになれば参加人数の増加が見込まれる。 ウォーキングラリーやグラウンドゴルフ大会などのイベントが開催できるようにしたい。</p>

あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書

事業の名称：明野地域住民の健康とコミュニティづくり

1 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
補助金収入	156,761	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会費収入	32,897	
事業収入	405,600	
寄附金収入		
そ の 他		
合 計	595,258	

2 【支 出】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
報 償 費	440,500	指導者謝金 各 3,000 円×145 回=432,000 円 代替指導者謝金 各 500 円×17 回=8,500 円
旅 費	0	
消 耗 品 費	40,611	スポーツ用品：テニスボール、卓球玉、インク、事務用品 【補助対象外 836】
燃 料 費	0	
食 糧 費	3,412	【補助対象外 3,412】
印刷製本費	6,685	コピー代【補助対象外 2,415】
通 信 運 搬 費	0	
広 告 料	3,000	広告料
保 険 料	52,900	団体損害保険料
手数料・委託費	48,150	謝金振込手数料等【補助対象外 30,550】
使用料・賃借料		
原 材 料 費		
備品購入費		
合 計	595,258	【補助対象経費 558,045】

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。

なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

活動目標報告書

1 自己収益（※）拡大に向けて

(1) 目標としていた自己収益金の総額 円

(2) 今年度の自己収益金の総額 円

(3) 自己収益拡大に向けた具体的な取り組み
(目標を達成できなかった場合は、その理由と改善策)

教室の開催が、コロナ感染防止や抽選会に参加しての会場確保等のため計画通りの開催が出来ず計画に対し70%程度の開催に止まった。

- 記入例：①会員加入の呼び掛けを行った結果、入会者の獲得に成功し、会費収入を増加させることができた。
- ②協賛企業の呼び掛けをこれまで以上に実施してきたが、景気の流れに左右されることもあり、新規開拓はできなかった。
- ③来年度も企業への呼び掛けを継続し、企業協賛金の拡大に努めていきたい。 など

2 受益対象者を増加させるための取り組み

(1) 目標としていた受益対象者数 人（延べ人数）

(2) 今年度の受益対象者数 人（延べ人数）

(3) 受益対象者数の増加に向けた具体的な取り組み
(目標を達成できなかった場合は、その理由と改善策)

教室の開催計画を、バドミントンとミニテニスは月2回、卓球は月4回、太極拳とヨガは月3回、ソフトストレッチは月2回とし、各教室の1回当たり参加人数は前年度の実績を参考にして教室毎の1回当たり人数で、年間の総参加人数を計画したが、教室の開催数が計画に対して70%と低調に終わったので目標に達しなかった。これからは、実行可能な教室の開催数をもって計画していくこととする。